

# 環境放射線監視センターについて

茨城県環境放射線監視センターは、本県の原子力安全・防災対策の体制強化の一環として、平成19年4月に移転・設置されました。

住民の健康と安全を確保するため、当センターでは平常時に、環境放射線の常時監視と農畜水産物など環境試料中の放射性物質の調査を行い、東海・大洗地区の原子力施設周辺環境における放射線の影響を監視しております。

また、原子力施設の緊急時に備えた活動も実施しており、隣接して設置されている「茨城県原子力オフサイトセンター」と「原子力緊急時支援・研修センター」との連携強化を図っております。

## 1階 分析・測定ゾーン



1 floor

### 1 試料前処理室



採取した環境試料の前処理（海産物・野菜の洗浄、細断等）を行います。続いて隣の**試料灰化室**で乾燥・灰化を行います。

### 2 放射化学分析室



透過力の弱い $\beta$ 線を放出するストロンチウムなどの測定のため、試料から目的の元素を化学分離します。排水や環境試料に含まれるプルトニウムは、**ラジオアイソトープ室**で化学分離します。

### 3 放射能測定室



試料中に含まれる $\beta$ 線や $\gamma$ 線を出す放射性物質を測定します。 $\alpha$ 線を出す放射性物質は、 **$\alpha$ 線測定室**で測定します。

### 4 機器保管室



可搬型モニタリングポストなど、主に緊急時に使用する機器を保管しています。

## 施設概要

建 物／鉄筋コンクリート2階建

建物面積／約2,000㎡

敷地面積／5,000㎡

停電対策／非常用発電機, 無停電電源装置

## 立地位置

○東海・大洗地区の原子力施設の、おおよそ中間の位置に立地しています。

[主要原子力施設からの距離]

原電東海第二発電所 約11km

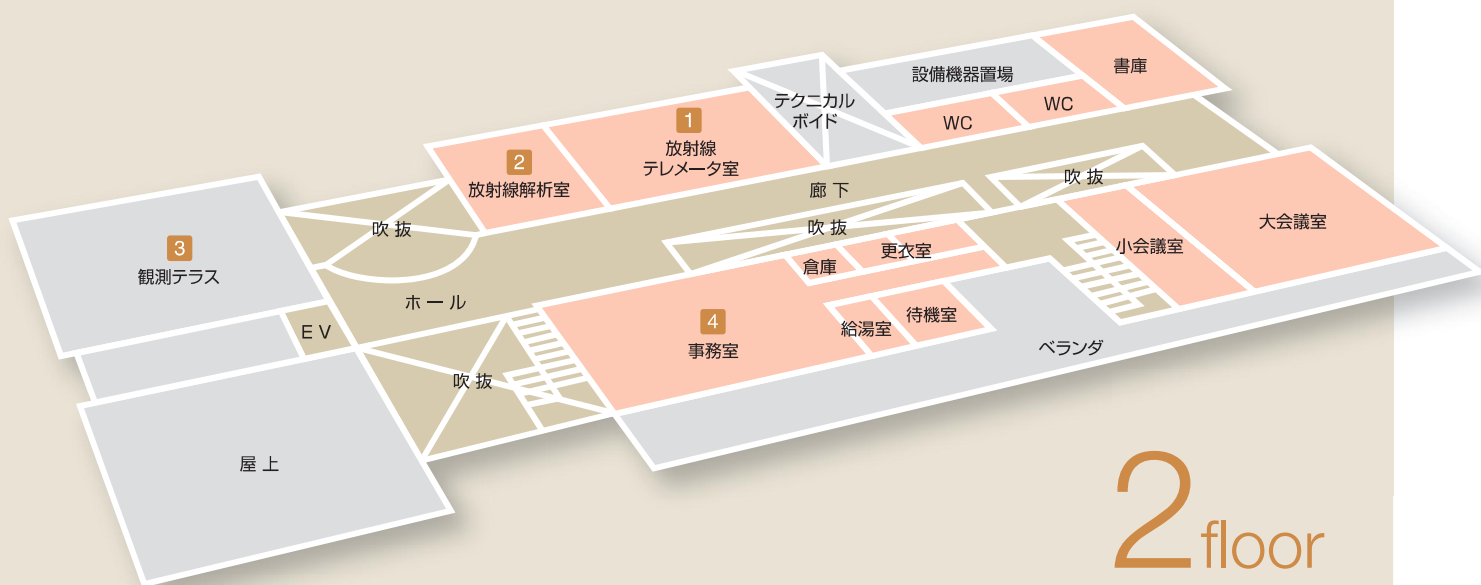
原子力機構サイクル工研再処理施設 約8km

原子力機構大洗高速実験炉「常陽」 約12km

### 原子力事業所の立地

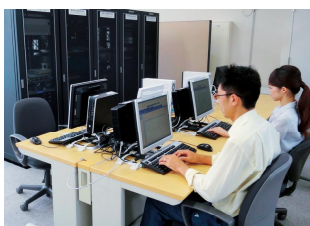
本県には, 原子力発電所を始めとして, 使用済燃料再処理施設, 核燃料加工施設, 大学等の研究施設など, 18の原子力施設が立地しています。

## 2階 常時監視・管理ゾーン



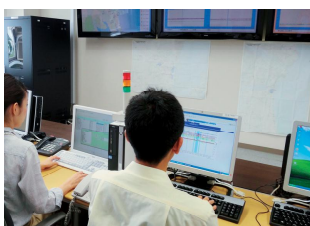
2 floor

### 1 放射線テレメータ室



中央監視局の中枢部で, 測定局のデータを収集, 保存するシステムです。解析装置・市町村・ホームページへのデータ送信や, 線量率上昇時に通報する機能も搭載しています。

### 2 放射線解析室



過去も含めたデータの集計・整理・解析・統計等の処理を行い, 表や時系列グラフ, 報告書等を作成します。

### 3 観測テラス



雨水, 降下塵, 大気浮遊塵を採取する機器を設置しています。

### 4 集中監視盤[事務室]



火災・電気・空調・給水・排水等の異常警報や, 入館者管理, 非常用放送, その他所内全体のユーティリティー管理を行います。